



朝夕の寒気が身にしみる頃となりましたがお元気でお過ごしでしょうか？キッチン取付け隊からおたよりをお届け致します。vol.4は『お風呂掃除・汚れの正体』を取り上げました。



浴室に発生する汚れには様々な種類があります。まずは汚れの正体を探ってみましょう。ぐ〜んっ☆とお風呂掃除がしやすくなりますよ♪

敵を知り、己を知れば、百戦危うからず…ね！



カビ



色：黒（薄紫）

発生しやすい場所：浴室全体



●カビが発生する要素

①適度な温度(20~30℃) ②水分(湿気)

③栄養分(有機物で、人のアカや石けんカス・ホコリなどが栄養分になります。)

④酸素(カビが呼吸・発行に必要です。)

上記4つの条件が揃えば、カビが繁殖しますので、4つの条件を満たさないようにすることです。例えば、湯アカや石けんカス・人間のアカが栄養源になるので入浴後はそれが残らないように、水で洗い流すと良いでしょう。その他、入浴後は換気を心がけて温度を下げましょう。

●カビが発生してしまったら 早めに浴室用の中性洗剤で取り除きましょう。放っておくと取れにくくなります。特にシーリング材に繁殖したカビは、シーリング材の中まで入り込む為、放っておくと取れなくなります。

酸素

栄養分

カビ

温度

湿度

(20~30℃)

(75~95%)



水アカ(湯アカ)

色：白・褐色

発生しやすい場所：鏡・水栓(金属部分)など

●水アカとは 水アカは水分が蒸発する時に、水道水に含まれるケイ酸という成分が残り、それが蓄積したものです。

●水アカが発生したら 軽いうちは浴室用中性洗剤や市販の研磨スポンジなどで落ちますが、ひどくなると落ちにくくなるので、早めに取り除きましょう。歯ブラシと歯磨き粉で磨くもの有効です。

色：ピンク

発生しやすい場所：

酵母

床・排水口まわり・壁・天井

●ピンクに色づいた汚れは酵母と思われます。カビと同様、条件が揃えば発生します。発育速度はカビよりも速く、予防・早めに取り除くことが大切です。

●カビにもピンクや薄紫色の種類のものがあり、浴室用中性洗剤で落ちない時は、カビ取り用の洗剤で対処して下さい。

※洗剤はご使用上の注意を必ずお守り下さい。

カルシウム石けん

色：白

発生しやすい場所：床・ドア・浴槽まわりなど

●カルシウム石けんとは 主に水道水に含まれているカルシウム成分と人間のアカや石けんに含まれる脂肪酸が反応してできる汚れです。(乾いた床やドアなどに白くこびりついている汚れ)

●予防法 毎日の入浴後にシャワー散水し、空拭きをして水滴を除去しておくことが効果的です。

●発生したら 軽いうちは浴室用中性洗剤で落とせますが、汚れが溜まってしまうとこすり落とすしかありません。材質を傷つけないようにするには歯ブラシと歯磨き粉で取り除くと良いでしょう。

色：赤茶

発生しやすい

もらいサビ

場所：床・浴槽まわりなど

●プラスチック部の赤茶色のザラザラした汚れはヘアピン等の鉄製品や水道水に含まれる鉄粉が出すサビが付着したものです。

●布に歯磨き粉をつけてこするか、竹べらで丁寧に落として下さい。取れない時は還元型漂白剤をお湯(60~70℃)でゆるめのペースト状にし、汚れに直接塗りつけます。15~20分後、布で拭き取りよく水洗いして下さい。(色落ち・変質に注意下さい)

金属石けん

色：青・薄紫

発生しやすい場所：浴槽内側など

●水道水や給湯配管から溶け出す金属成分(銅イオン)と人間のアカや石けんに含まれる脂肪酸が反応してできる汚れです。特に新築当初は、金属成分が配管から溶け出す量が多い為、青い汚れがつきやすくなります。

●この汚れは洗剤などでは落ちにくく目立つ場合は、アンモニア水(10%溶液)を古衣料等に浸し、汚れた部分をこすり落として下さい。※アンモニア水は薬局で購入できますが、刺激臭が強く取扱いにはご注意下さい。アレルギー体質の方は使用しないで下さい。使用時はゴーグル等で目を保護し必ず換気して下さい。